

■ はじめに

本校において実施した「探究Ⅱ 課題解決型職場体験」の取り組みについて、その年間の授業概要および併せて使用した冊子の活用方法についてご紹介いたします。

■ 授業の概要

本探究授業は、週2コマの通年授業として実施しました。単なる職業体験にとどまらず、「デザイン思考」の考え方を取り入れ、企業と社会の課題を発見し、その解決に向けた提案を行うことを主な目的としています。具体的には、鳥取市内の企業を対象とし、以下のような活動を行いました。

■ 活動の流れ（年間の授業構成）

1. 仕事体験

企業訪問・業務体験を通して、現場の実態を知る。

2. 社長インタビュー

経営者の視点から、企業の目的や課題、ビジョンを聞き取る。

3. 従業員インタビュー

実際に働く方々の業務内容ややりがい、現場で感じる課題を把握。

4. ユーザー行動観察

対象企業の顧客や利用者の行動を観察し、潜在的なニーズを探る。

5. プロトタイプ制作

課題に対する解決策を形にする。製品・サービス・仕組みなどの試作品を設計。

6. 最終プレゼンテーション

生徒が課題とその解決策を整理し、本校の探究成果発表会である「青開学会」にて提案を行う。

■ 授業冊子の活用について

本授業において使用した冊子は、課題解決型職場体験の学習を効果的に進めるためのガイドブックとして作成しました。以下に主な活用場面を記します。

- **フィールドワークの準備・心得の確認**
- **業界・企業研究**
訪問先企業が属する業界の情報を調べるページや、企業情報を整理するページを用い、企業の存在意義や価値提供の構造を把握できるようになっています。
- **インタビュー**
社長・従業員インタビューでは、あらかじめ質問項目を記入し、優先順位をつけて準備を行います。
- **行動観察**
来店・退店・店内行動などを観察し、時刻・構成・年齢層・行動の詳細を記録します。
- **職種・仕事の理解**
訪問企業の職種について、1日の流れや必要な知識・スキルを調べます。
- **課題設定からアイデア創出・プロトタイピングへの展開**
冊子後半では、デザイン思考のフェーズ（共感→問題提起→アイデア創出→プロトタイプ→テスト）に対応した記入欄を設けており、職場体験を起点に企業課題への提案へと発展させるよう設計しています。

■ 冊子データについて

掲載しているPDFデータは、実際に授業で使用した冊子の内容となります。そのままご活用いただくことも、各校の目的に合わせて改変していただくことも可能です。ご不明な点や詳細のご希望がありましたら、どうぞお気軽にご連絡ください。